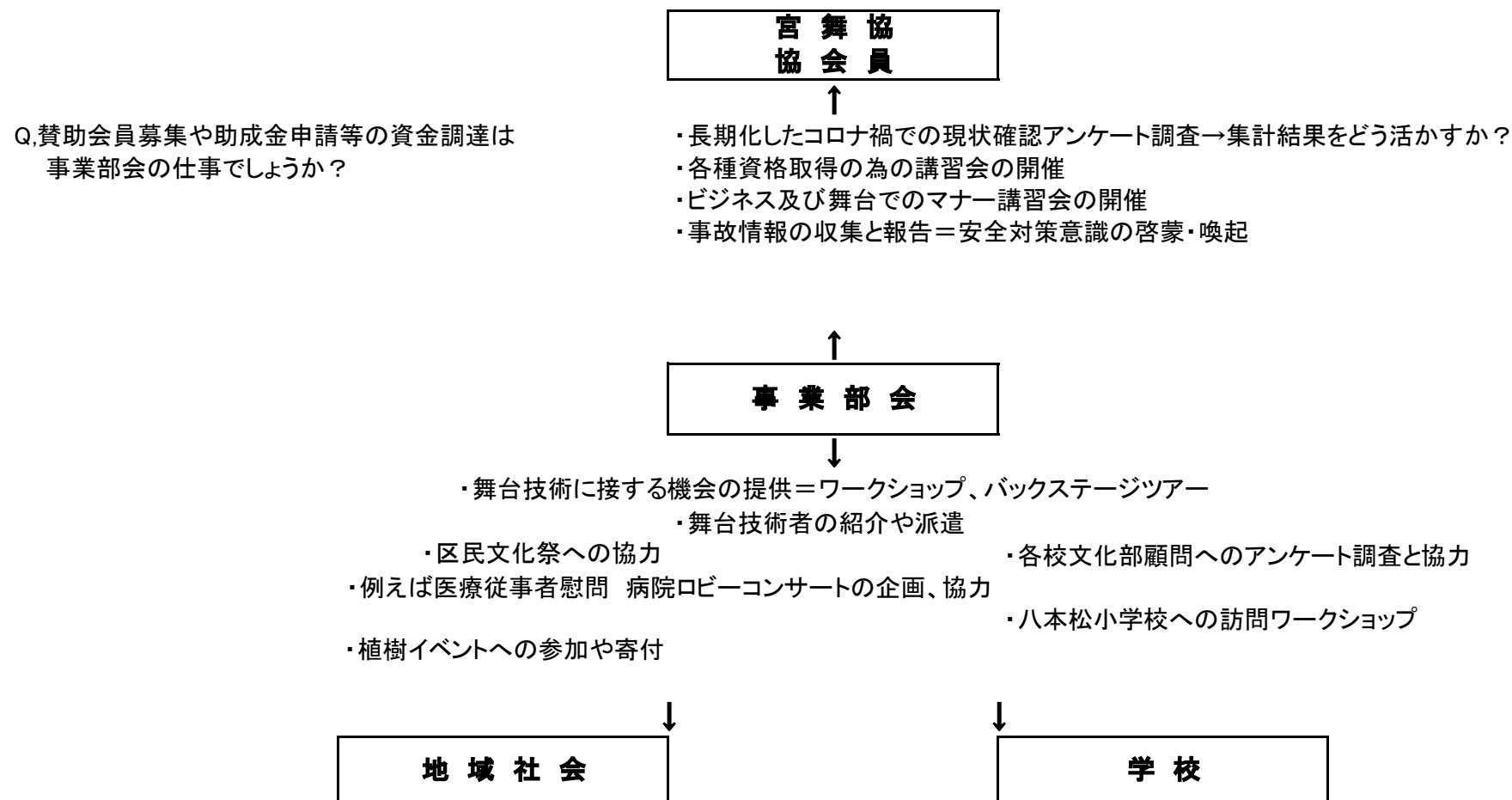


資料① 宮城舞台技術者協会事業部会のなすべき事とは？（試案 0603）



資料②

宮舞協事業部会とSGD'sに関する雑感

ご存知の通り国連が全世界に向けて提唱した「持続可能な開発目標」で、17の目標が設定されています。

その一つ一つの目標を達成もしくは達成に近づく為に宮舞協各協会員の業態を大きく変える事は現状とても難しいと思います。

ですが考えるまでもなく大容量の電気を消費したり、大量の廃棄物の発生を伴う舞台技術業務が地球環境に優しくない業態である事は間違いありません。

では舞台技術業務は世界の人々の為に無い方が良いのでしょうか？ 答えはNOです。ペストやスペイン風邪のパンデミック、そして2度の世界大戦や途絶えた事の無い戦争が続いても舞台芸術は無くなりませんでした。そして今回のコロナ禍で「不要不急」のレッテルを貼られた舞台芸術を、現代を生きる舞台技術者の責任として決して手放してはいけなと強く思います。

そしてSDGsも現代を生きる者が取り組むべき責任なんだと思います。ゴミの少ない舞台装置作りがトライしなければなりませんし、使い終わった舞台装置の再利用にも心を砕かなければならないと思います。でも、残念ながらどうしてもゴミは出ますし、大容量の電気も消費するでしょう。

そんな代償と引き換えに人々に喜びや感動を感じてもらう事を生業とするのなら、せめて私生活においてはゴミを多く出さないように生活する事もSGDsの理念に呼応するのではないかと思います。卑近な例ですが、弊社ではすぐにクシャクシャになる現場での舞台図面等の紙資料は裏紙を使う様にしています。

申し上げたいのは、舞台での業務や宮舞協が実施する事業も何らかの形で17の目標に繋がるのではないかなと言う事です。

私達の身の丈に合った在り方の先に見えてくる17の目標の一つ一つに向き合う事が「持続可能」であるポイントではないでしょうか？

17の目標に無理して合わせるのではなく、見えた目標を形にして行く。私の個人的考えです。御意見を宜しくお願い致します。

SGD's 17 の 目 標 と 例 え ば 舞 台 技 術 者 が 出 来 る か も し れ な い 事

① 貧困を無くそう＝舞台芸術で心を豊かに

② 飢餓をゼロに＝捨てるお弁当をゼロに

③ すべての人に健康と福祉を＝保険制度の再考

④ 質の高い教育をみんなに＝講習会やワークショップの開催

⑤ ジェンダー平等を実現しよう＝違う立場の人も尊重する

⑥ 安全な水とトイレを世界中に＝普段から水を大切に

⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに＝

舞台技術者だからこそ普段から電気を大切に

⑧ 働き甲斐も経済成長も＝皆が楽しんで頑張れるように♪

⑨ 産業と技術革新の基盤を創る＝商品開発に協力

⑩ 人や国の不平等をなくそう＝劇場から始めよう！

⑪ 住み続けられるまち作りを＝劇場の有る街って良いよね！

⑫ つくる責任使う責任＝相手の立場になって考えて行動する

⑬ 気候変動に具体的な対策を＝野外イベントの今後を考える

⑭ 海の豊かさを守ろう＝ビニールゴミを考える

⑮ 陸の豊かさを守ろう＝紙・木材を大切に

⑯ 平和と公正を全ての人に＝

劇場から始めよう！

⑰ パートナースhipで目標を

達成しよう＝1人1人がひと

つづつ

宮城舞台技術者協会事業[SGD's]部会からの企画案(2021年6月21日)

宮舞協事業部会では6月4日と7日に会議を行いました。事業部会として検討・実施していくにあたり、①「宮舞協協会の皆様に向けての事業」と、②「学校を含めた地域社会の皆様に向けての事業」を2本の柱と考えました。(資料①をご参照下さい)

身近な案から大掛かりな物まで様々な意見が出ましたが、ワクチン接種の浸透で少し光明が射して来たとは言えまだまだ問題山積の現状で無理をするのは危険だろうとの結論に至り、本年は次の2つの事業企画を事業部会からご提案させていただきます。

①「舞台錬金術！」(仮称)

THE MODERN WORLDの山品さんから「Mr.Children」が不要になったギター金属弦を集めて換金して、発展途上国の井戸を掘る事業に献金してるとの情報を頂きました。そこから舞台技術業務の過程で発生する金属ゴミを集めて換金し、例えば植樹事業に献金するのはどうだろう？ということになりました。何の事はない皆さん既にご存知の【ダメ釘集め】です。資料②にも書きましたが舞台技術業務は大量の廃棄物を出し、大容量の電力を消費する宿命にあります。ですがそんな代償を払って余り有る「感動」をお客様に届けることを生業としてはいますが、そこに胡座をかいてはダメなことも明白です。この企画の良い所は ①既にあるシステムを利用する手軽さ ②舞・照・音、或は劇場管理・外来業者の業種枠を超えて参加出来て、前出の「ギター弦」も含めるとライブハウス業者や専門学校にも参加を呼び掛けられる ③敢えて無理をしなくても、どうしても発生してしまう金属ゴミを集めれば良く、またそれが人の役に立つ 反面、考えなければならない問題点も同様に多々有る事も事実です。収集の呼びかけ～個別集積詳細～回収方法～全体集積場所～種類選別作業の有無～買い取り業者の調査・選定 等々を今後検証しなければなりません。SGD'sが掲げる「持続可能な目標」としてはかなり可能性のある事業企画になり得ると思います、皆様にご提案させていただきます。

②「舞台スタッフによる3・11語り継ぎ」(仮称)

コロナ禍に翻弄され続けてつい忘れちゃってしまってますが、今年は東日本大震災から10年目の年です。被災地宮城県の舞台技術者としての記憶や教訓を思い出して記録して、まだまだ続くかもしれない余震に対して意識を新たにするとともに、残念ながらいつかは必ず起こるであろう他の地域での大震災に遭遇する【劇場関係者・舞台技術者・主催者・観客】の皆さんへの語り継ぎになる物として何らかの形で残せればと考えてご提案致します。既に出されている学術論文的な物ではなく、スタッフ楽屋話的な物が良いのではとイメージしております。気を付けないと本業を圧迫しかねない大変な事業企画になるかもしれませんが、被災地の舞台技術者としてやる意義はとても大きいと思います。

以上2つの案をご提案させていただきます。ご検討の程宜しく御願い申し上げます。

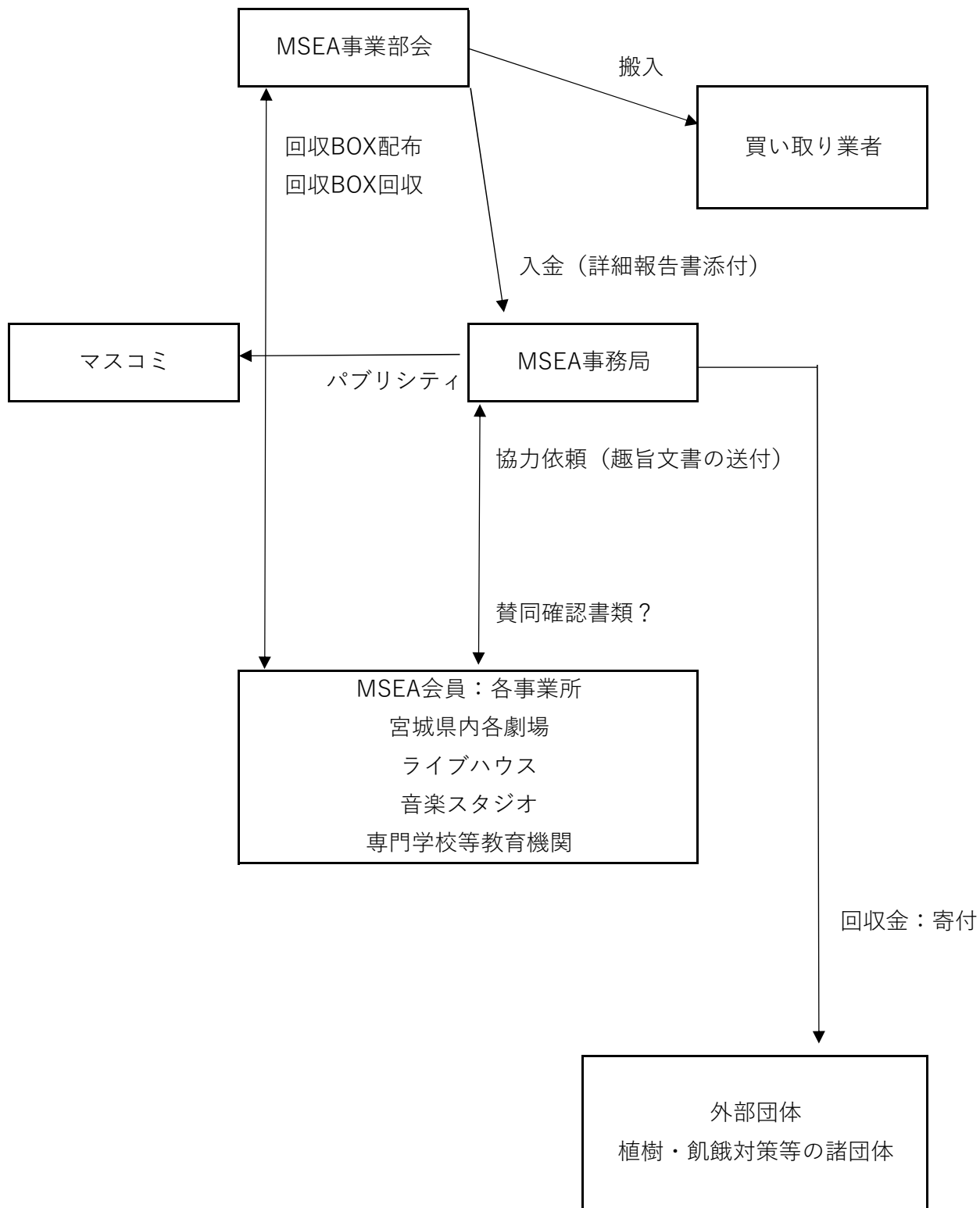
資料①の企画事業案に関しても今後の実施に向けて調査・検討していきたいと考えております。

2021年6月21日
宮城舞台技術者協会 事業[SGD's]部会

資料③

「舞台錬金術！」

フロート：（案）



※回収BOX：新たに用意？ BOXにMSEAの事業と解るデザイン必要？

※買い取り業者の選定は？

※一時保管の場所、必要性は？